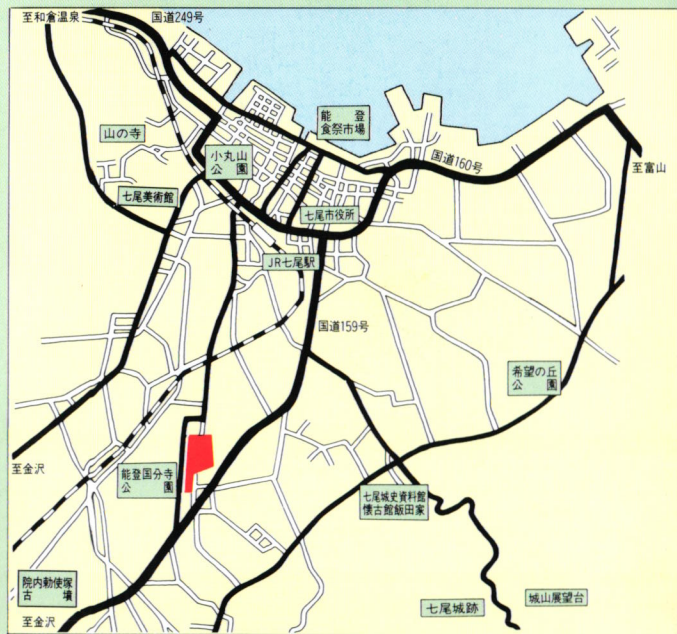




国指定史跡

能登国分寺跡



ご案内

- 入館料 能登国分寺展示館 個人 200円（高校生以上）
団体 160円（ 〃 ）

※ 中学生以下は無料、団体は20名以上、公園は無料。

■休館日

能登国分寺展示館 毎週月曜日、祝日の翌日、12月28日～1月4日

お問い合わせは

能登国分寺展示館

〒926 石川県七尾市国分町リ部9番地
(能登国分寺公園内)

☎ (0767) 52-9850

国分寺の誕生

今からおよそ 1,250 年前の奈良時代、国内には伝染病や作物の不作が続き、人々は生活に苦しみました。

聖武天皇は、こうした世の中の乱れを、神仏の救いにより平和を取り戻そうとしたのです。こうして、天平13年(741)から、国立のお寺である国分寺が、全国68の国々に誕生したのです。

能登国分寺の設置

能登国分寺は、国分寺建立の詔がでてからおよそ 100 年後の承和10年(843)に、それまであった大興寺というお寺を格上げして国分寺(金光明四天王護国之寺)としたことが当時の書物にみられます。以後、大興寺の時代も含めて 400 年間能登の仏教の教えの場として栄えました。

能登国分寺跡の整備

能登国分寺跡は、七尾の市街地から南へ約 1.5 キロメートル入った水田の中にあります。昭和45年から始まった発掘調査で、おおよその姿が明かになり、昭和49年に国の史跡指定を受けました。

平成元年から文化庁の「ふるさと歴史の広場」事業として約 8 億円をかけて整備を行ない、平成 4 年10月「能登国分寺公園」としてオープンしました。

The national Buddhist Temple of Noto Kokubunji was founded in 843 and has been maintained as a historic park. 1992 marked the restoration of the 1000-year-old South Gate and Wall, and the opening of the Exhibition Hall. Please enjoy your visit to this distinctive outdoor museum.

